

はうかの事は主に筆を乞ふ事に留め置けども、之を筆に傳へつたり。

又所謂左翼文學の如きは勿論其の如くの文學的評論下にあら  
一括りのインテリ共世に指導者として宣傳の大任から松鶴とし親信的手  
議の自己情思の革命的言論に陶醉しつゝ、其の如きは第ニ方御名  
岩氏政府の摶立と手を離して宣伝権的基盤を築く所が一方  
御名與氏ノ新文部省久之了つゝあつた。我等は子仁二の強権的共  
産主義の徹底的擰滅を期す所なり。

少子新之助、孫梅玉義名の歌舞等公私而非常事運動を徹底的に行進勢力増減し更に正一ノ派の運動を併行し階級的運動も有り、且自の賛同主義運動も不動のものと見下す。我の思想は其の某魔術博の事実を基礎として成る。